

～水産加工×障がい福祉で地域再生～

令和4年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】 採択課題

課題名：水福連携の沿岸全域への普及と可能性拡大に向けた研究

研究代表者：社会福祉学部 山岡由美

課題提案者：岩手県庁復興防災部復興くらし再建課

研究メンバー：（合同）地域計画 代表 熊谷智義、岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援

部 副部長 田澤 晶子、岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 主事 阿部 ななは

技術キーワード：水福連携、雇用、障がい福祉、産業振興、復興

▼研究の概要（背景・目標）

岩手県の沿岸地域では、慢性的な人材不足にある水産加工業の業務・作業と就労貴下の少ない障がい福祉サービス事業所利用者世結び付け、生産力の向上や社会参画を図る「水福連携」の取組は、双方のニーズの充足及び課題解決につながるものと考えた。

▼研究の内容（方法・経過）

- ・既に水福連携により成功している事例の分析や、障がい者に適している業務・作業の一層の掘り起こし等を行い体系化を図った

- ・岩手県内の水産加工評者（208件）と障がい福祉サービス事業所（89件）へのアンケート調査及びヒアリング調査や作業見学を来ない、業務・作業や課題等の洗い出しを行った

▼研究の成果（結論・考察）

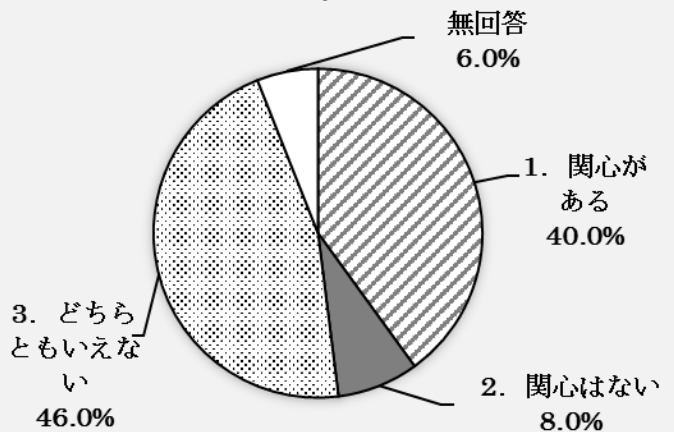
- ・アンケート調査の総回収率は42.2%であったが、自由記述では多くの記載があり貴重な情報を得ることが出来た。

- ・ヒアリング調査では、水産加工業者と障がい福祉サービス事業とをつなぐ支援機関の役割の重要性が支援され、障がい者に適した作業の体系化を「障害特性マトリクス表」としてとりまとめた



障がい者福祉サービス事業者への調査

質問12. 水福連携への関心



▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- ・今後の展開として水福連携に係る推進体制の確立に向けて関係機関による情報・意見交換の場を設置し、関係機関それぞれの役割における取組の促進を図っていくことが挙げられる

- ・調査実施にあたり、ご協力いただいた水産加工業者及び障がい福祉サービス事業の方々に感謝申し上げる（謝辞）